

私たちの人生や信仰はいつも揺れ動いているものです。今日言った事が明日にはかわってはいないでしょうか？揺れ動いていると生じるのは「罪」(ハマルティア)です。あなたに問題があった時、一番に誰に頼っているでしょうか。「これをしたらこうなるのではないだろうか」・・目に見えた問題を心も同じように受け取ります。これがいわゆる「心配」です。心が動き不安を抱いて、ちょっとずつ脱線していくのです。私たちが心配ばかりして新しいことに挑戦もせず、問題に流されたままで何もしないでいいというのであれば神様の存在は不要かもしれません。しかし私たちは日々よくなりたく、問題も解決したい、成長したいと願っています。でもそこには何の保障もありません。だからこそ「神が新しい道を作る」という保障があればどこかで安心し、すぎりたいと思うのです。誰に教えられるわけでもないのに、私たちは小さい頃から「願うこと」をします。誰にでも願って頼る気持ちはあるのです。しかしこの頼って信じようとする気持ちと揺れ動く気持ちがいつも戦っています。「信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです」(ヘブル11:1)目に見えていないものが確信できるから、「できる」と信じられるのです。失敗する人は小さな穴に落ちた羊のように、心が騒ぎ自分のやることに追われ、どんどん自分を悪いほうへ追いやってまがいています。その時解決すればよい小さな問題(的外れ)が体全体を悪くしてしまうのです。あなたは今小さな問題ゆえに、人生を失敗していませんか。迷った道の先が行き止まりのように、罪から抜け出せず罪の中に居るままだと、取り返しのできない事があるのです。そのような事態になってしまっただけでは取り返しがつきません。ヨシュアはいつも自分がどこに立っているのか神に確認していました。神と一緒にいれば絶対に迷うような事はないと信じていました。ヨルダン川が二つに割れた時は、割れるのを待っていたのではなく、川に一步足を踏み入れた時でした。私たちがどこに頼っているのか、いつも自分で理解しておく必要があります。人間には一生のうち解決できない事が必ずあります。その問題が起こった時、マイナスに引っ張られずまっすぐ歩む為に**①マイナスにする要因をとる**。あなたは今どういう問題に悩まされていますか。悩ませるものを捨ててください。悩んでいても何も解決できません。あなたの心が悪くなるだけです。神様はあなたが喜ぶ姿が見たいのです。悩むより「明日はこうしてください」と祈るほうが早いのです。危険予知をきちんとしていますか。同じ問題に毎回ぶつかっていないでしょうか。その場所に居続けても意味がありません。はまっていかないようにしましょう。マイナスにする要因をとってください。問題が起こったら問題の根源を絶ってください。問題の根源を絶つのは聖書と神様の恵みしかありません。あなたに解決できない問題は祈ってください。祈りの人生にしましょう。**②気をつける!!!**細部にわたって気をつけてください。ギデオンは13万5千人の兵隊を300人で打ち勝ちました。その300人は、水を飲むときに、いつ敵から襲われても大丈夫なように、立ち膝で周りを警戒していた人が選ばれたのです。彼らは恐れていたのではなく、気をつけていたのです。問題が起きたときに対処できるのは不安ではなく、そこに注意をしておくということです。(マルコ13:31～33) 私たちは気をつけて、注意して、目を覚ましていなくてははいけません。あなたがマイナスに導かれていると注意できません。だからこそしっかりとマイナスの要因を捨ててください。マイナスを捨て、同じ過ちをしないように進んでいきましょう。**③約束を忘れない**。主にすぎれば問題はあります。主にすぎるといいながら忘れることが問題なのです。あなたはやると言ったらやらなくてははいけません。(ヨシュア23:15) 何代にもわたり祝福されるか根絶やしにされるかどちらからかです。それが神様の約束です。だからこそ注意し神に従うことが大切なのです。もし悩みがあるならすぎりきれていないのです。すぎりきれていない人生は約束を果たせない人生です。(ローマ1:28～31) 神に従わないものはこのようにちょっとずつ変わっていきます。自分に当てはまることはないですか。約束を守っていればこのようにはなりません。神様と約束したことを、そしてあなたの隣人と約束をしたことを果たしてください。誓って果たさないのなら誓わないほうがましです。聖書には「信仰と希望と愛が持てる」と書いてあります。たとえ成功してもこれらがなければ意味がありません。今あなたには信じる気持ちがありますか。その力をくれるのはイエス・キリストであり聖書のみことばです。祈ることをムダだと思わないでください。神様はあなたの願いを聞く方です。だからあなたはマイナスさえとって信じて祈れば成功が訪れます。そして受け取ったらそれを見逃さないように気をつけてください。気をつけていれば問題に再び会うことはありません。そこで大切なのはあなたが約束をきちんとおぼえて努力することです。私たちが100%約束を果たせないことは神様も知っていますが、失敗を善処しようとする気持ちを忘れないでください。(ヨシュア1:5～9) あなたは右にも左にもそれでははいけません。そしていつもあなたの行くところに神様は共にいます。今日から主にすぎり、約束を果たす人生にしていきましょう。